

授業科目	北九州の技と文化				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NT10603J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	林 裕二							
授業概要	<p>北九州には、長年、ものづくりに携わり、優れた技術・技能をもった「匠」、「達人」がいます。利便性が追求される現代では、地域で育まれてきた技や伝統文化に出会い、接する機会も少なくなってきました。本講では、達人たちの生き方や仕事に対する向き合い方を学び、これからの人生への礎としてほしいと思います。この授業では、北九州の文化圏でその技や文化を継承し、守ってこられた外部講師の方々の講義のほか、体験を通して、地域に伝承される技やその背景の文化の一端を知り、ものづくりのあり方について考えます。該当 DP は 1-1 ですが、大学 3 年生以上の授業であり、技能・表現の能力についても、書くことの基本的なルールは、理解できていることを期待します。具体的には、句読点、段落、漢字とかなの使い分け、文章のタイトルのつけ方、レポート等の参考文献の示し方などです。しかしながら、それが十分とは言えないところがあり、そこはテキスト等を利用して、指導します。</p> <p>* 外部講師(2 回目～6 回目)の内容、順番が変更になることもあります。ビジネスの世界では、年間計画ができるのが4月であり、このシラバス作成時には確定していませんので。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域・社会で活躍することの意義を習得することができる</li> <li>2. 伝承されてきた技と背景的歴史が理解できる</li> <li>3. 講義内容を理解し、まとめ、提案を含むレポートを書くことができる。</li> <li>4. レポートの参考文献には印刷物を必ず含むこと。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	0	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			60		40		100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

講義内容の意味を正確に理解し、適切な表現で課題を分かりやすくまとめることができる。また客観的な根拠(エビデンス)に基づいて論理的に主張を述べ、独創的な提案ができる。		講義内容の意味を理解し、適切な表現で課題をまとめることができる。根拠(エビデンス)を示して、自らの主張を述べ、提案ができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ;オリエンテーション 本講義の目的と授業の進め方、達成の目安、評価方法等について 解説する。(林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	30分
2	テーマ;地域で育まれてきた文化(1) 倉織とその文化(外部講師、林)	小講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
3	テーマ;ものづくりへの挑戦 作りの技と文化(外部講師、林)	凧講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
4	テーマ;地域で育まれてきた文化(2) 地域の食文化―「ぬかだき」を知る(外部講師、林)	地域講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
5	テーマ:環境モデル都市と文化 (外部講師、林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
6	テーマ:地図づくりの歴史とこれから(外部講師、林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
7	テーマ:1.まとめる ディスカッション レポート (林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
8	テーマ:2.まとめる ディスカッション レポート (林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	50分
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	初回の授業(オリエンテーション)で講義全体の概要を説明する。関連する文献を読み、予備知識を得ておく と、授業の内容を深めることができる。			
テキスト	1. 知へのステップ 第5版 —大学生からのスタディ・スキルズ 学習技術研究会(著)出版社:くろしお出版;第5版(2019) 2. 外部講師からはプリント等で配布する。			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	大学図書館の朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル(大学図書館、キャンパス内の情報演習室等か ら閲覧可能です) 新聞・雑誌を利用します。図書館には何種類もあります。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	日頃から新聞、雑誌等を読み、ニュースを見て、世の中でどのようなことがおきているかを知ることが大切で す。図書館を活用しましょう。 社会にはいろいろなことがあることを知るのには、紙の新聞です。いろいろなことが社会にはあることが新聞を 広げることで、わかります。			
達成度評価に関す るコメント	1.レポートの内容については、授業中に指示します。特に1回目の授業で詳細を説明します。テキストを用意 して参加してください。2.レポートは指定された日時に提出すること。3.出席は評価の対象ではありません。 単位認定の条件です。3回以上の欠席で単位認定資格を失います。4. レポートは感想文ではありません。客 観的なエビデンス、論理的構成が必要です。わかりやすい文章を書くスキルはキャリアでも有利ですので、在 学中にきちんと習得しておくことが大事です。 <a href="https://unipa.sjg.gr.jp/up/faces/image/ja/def/button/kakutei_on.gif">https://unipa.sjg.gr.jp/up/faces/image/ja/def/button/kakutei_on.gif</a>			

